

# わたしのいもうと

三次市立十日市小学校  
第1学年 大畠 埜乃

わたしのいもうと

—ねん おおはたのの

わたしは、おねえさんになりました。かあ  
あがけうしようした、きよねんの九がつ十か  
にいもうとのあずがうまれました。

わたしが、ほいくえんのきいぐみさんのと  
きに、ままが、

「あかちかんがうまれるよ。」

とおしえてくれたから、びっくりにしました。  
きょうだいがでるとおもって、あくわくし

ました。

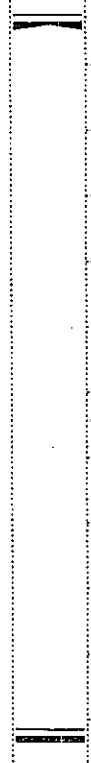
あずがうまれて、ははとびよういんにいき  
ました。びよういんにいったとき、あずは、  
とてもちいさくてかわいかったです。  
です。ないたら、かあがあかくなっておさ  
るさんみたいでした。だいまさなおばあちや  
んがいなくなっただけじゃあ、たから、あずが  
うまれてくれて、うれしかったです。にこに  
こになりました。

ままがにゅういんしているあいだ、ははと

ふたりでおるすばんをしました。はやくままとすかがえってきてほしいとおもいました。かえってくるのがとてもたのしみでした。だつこをしたりみるくのませたりしたかったからです。それに、さみしかったからです。かつとかえってきたとき、かつたあとこののながでさけびました。ぐびぐびといっしているすばちを見て、これからずつといっしまにいられるとおもってうれしくなりました。

すばは、とてもくいしんぼうです。うまいたばかりのとき、めをすっかりあけて、ママのおちちやみるくもぐくのんでいました。のみすばは、はくこともありました。おなかいっぱいになったら、よくねむりました。あたしもすばにみるくをあげたことかあります。ねかせて、ほにゅうびんをくちにいれてあげました。よくのんでくれました。ままになつたみたいでうれしかったです。いまは、じぶんでほにゅうびんももつてのんでいます。

ご主人もよくたべます。いじょうしよくの  
 ふくろにはいつているおがずちごはんにかけ  
 て、おむらいますみだいにしてたべます。はな  
 ないようぐるとなかけたおやつもよくたべま  
 す。あさ、すが、ないていと、ままはばな  
 なようぐるとをつくいます。すがは、ばなな  
 をみると、なさんでせつてすあつてま  
 ちます。あたしもとごごいっしよにばなな  
 をたべます。すがは、やつはいくいしんぼう  
 だなあとおもいます。すががよくたべるので



あたしよりおおきくならなにかしんほいで  
 もう、あたしのおなごぐらいあります。あた  
 しまりおおきくなつてほしくないます。だ  
 て、あたしがおねえうんだがらです。  
 すががあるくようになつて、こまつてい  
 ることがあります。わたしがかっこうからかえ  
 っつて、つくえいすあつてしつくだいをし  
 たら、ときどきすががきて、つくえにおい  
 ているしつくだいふりんをひつばつてま  
 だから、わたしはすずのゆびをかみからはす

して、とどかないところにおきます。そして  
 ら、すずは、  
 っうええん。  
 とどけふよ、ういなが、ままのところい  
 いします。ちよ、とかわいそうだけと、やっ  
 とあ、ちこい、た。し、くだいができるぞ。  
 とおもいます。

でも、わたしは、すずがだいすきです。わ  
 たしのごとをえが、おでおいかけられます。  
 が、ごうからえ、たと、わたしのことだ

いま、というごえを、いた、げんかんまで  
 あるいてむかえ、い、てくれます。うれしくて  
 だ、ごすると、さ、もあります。「さ、あ」とあ  
 らいながら、いうところ、が、わい、い、です。くつ  
 を、は、いて、ある、い、て、いる、と、さ、い、ろ、ん、な、と、こ、ろ  
 で、す、べ、つ、て、お、し、い、ち、と、ん、と、し、て、さ、け、る、と、こ  
 ろ、が、わ、い、い、で、す。そのと、さ、は、だ、つ、さ、した  
 り、て、を、も、つ、て、た、た、せ、た、り、し、ま、す。

すずが、ま、ま、に、だ、つ、ご、し、て、も、ら、う、と、さ、わ、  
 だ、し、は、あ、ま、え、ら、れ、な、い、の、で、さ、び、しい、で、す。で

も、そのときははほいだよ。こしでもらいます。  
すまがないたらかあいうだから、わたしは  
がまんします。

あたしは、たのしみにしてていることがあり  
ます。すまがおおきくなったら、いっしょに  
からだをうづかしてあそびたいです。たいそ  
うがなあといひがしたいです。いっしょにおえ  
かきもしたいです。わたしは、すまのため  
に、なんでもできるおねえちゃんになりたいです。  
すま、はやくおおきくなってね。まってる

め。

### 〈指導者の言葉〉

この作品は、1学期の終わりに、国語科の「こんなことしたよ」の学習で、絵日記の学習をした後に、これまでの国語科で学習したことを生かして、自分の体験を書いた時の作文です。

この学習では、書きたい題材を選ぶ、見たことやしたことをよく思い出して書く、思ったことや感じたことを書くということに留意して指導しました。

特に、自分がしたことや見たこと等の出来事とその時の自分の思いをつなぎ合わせて書くように取り組みました。

本児童は、妹が生まれると分かった時の驚きや生まれるまでの気持ち、生まれてからの妹の様子や自分との関わり、そして、姉として願うこと等を振り返ってよく思い出し、出来事やその時の気持ちを重ね合わせて、素直に丁寧に表現しています。大好きな妹への愛情が伝わる作品になりました。